

平成7年2月1日

外国の現状や考え方、意見をどうぞ

リサイクル『外国人懇談会』

1日、豊島区役所で開催

豊島区役所で1日、リサイクルやごみ減量に関して外国の現状や考え方、意見などを聞き、区のリサイクル施策に反映するため、区内在住・在勤の外国人を対象とした「リサイクル『外国人懇談会』」が開催された。

この懇談会は、豊島区には多くの外国籍区民が住み、ごみの出し方やリサイクルについて、地域でのトラブル等が発生しており、外国語リーフレットの配布だけでは十分とは言えないとの認識の下に、区内在住・在勤の外国人から直接意見等を聞き、今後の同区のリサイクル施策に反映させようと開催されたもので、昨年7月に実施されたのに続き2回目。

今回は、北朝鮮、フランス、ハンガリー、韓国、デンマーク、フィリピン、台湾、中国の各国籍の区内在住・在勤の8人が参加した。

懇談会では、「外国人向けのパンフレットとしては英語で書かれたものが多いが、外国人だからといっても必ずしも英語がわかるとは限らない」「日本では、物が少しでも壊れると直さずに捨ててしまう。もっと物を大切にすべきだ」「トレーやペットボトルの回収はとても良いが、1か月に1回では少ないと思う。回収回収を増やしてほしい」「製造メーカーは責任をもって回収すべきだ」など、母国と日本のごみやリサイクルについての比較や、日本で不便に感じていることなど、活発な意見が出された。

詳細 リサイクル計画課